

東広島キャンパス西体育館等の水道水について

今般、本学東広島キャンパス西体育館付近の水道配管の誤接合が判明し、このことにより、多くの学生等が嘔吐、下痢等の不調を訴える事態を招きました。

このような事態を起こしたことは、誠に遺憾であります。

本来、学生、教職員等が安全に生活・活動することが大前提であるべき本学キャンパスにおいて、飲用を目的としない水（中水）を飲料水として提供してきたことについて、学生、教職員をはじめ西体育館及び西グラウンドを利用された方々に対してお詫びいたします。

広島大学では危機管理室を設置しており、これらを利用された方々の健康に関するケアをはじめ、再発防止に向けた方策等について全力で取り組む所存であります。

1. 発端

7月24日に『西体育館のウォータークーラーの水を飲用した学生に嘔吐、下痢等の症状がある』との報を受け、以下の措置等を実施。

- ・西体育館を含むキャンパス内のウォータークーラーの使用禁止
- ・西体育館及び西グラウンドにおける水道利用の禁止
- ・西体育館をはじめとする総合科学部エリアの水道の水質調査

2. 学生等の状況

- ・聴き取り調査により、クラブ活動により西体育館を使用していた学生のうち、嘔吐、下痢等の症状があった学生が30名いることが判明。
- ・また、西グラウンドに設置された水道水を飲用したと思われる学生及び高校生に同様の症状があることが判明。
- ・現在、引き続き、確認及び詳細について調査中。

3. 西体育館等の水道水の状況及び原因

- ・水質検査の結果、西体育館等の水道水が飲料水に適していないとの結果。
- ・31日に西体育館及び西グラウンドにおける上水と中水の配管が逆に接続される誤接合が判明。（西体育館が完成した平成5年からの状態であった可能性が強い。）

4. 今後の対応

本件に関する危機管理室を既に設置し、以下に取り組む。

- ・本件に係る健康被害に関する窓口の設置等学生等へのケア
- ・本件に係る健康被害、及び原因究明のための調査
- ・再発防止に向けた取組、体制に関する検討